

令和5年度 消費・安全対策交付金（令和4年度補正予算本省繰越分）事後評価の概要（ソフト・一般型）

目的	目 標	事業内容	目標値		実 績	達成度	評価	事業実施 主体	交付金 相当額 (円)	評価の概要	第三者の意見の概要
地域での食育の推進	地域での食育の推進	・ 共食の場における食育活動	・ 地域等で共食したいと思う人が共食する割合	58.9%	66.7%	113%		岐阜県	4,585,321	共食の場の提供について熱心に取り組まれ、食育活動にて多くの働きかけを行った。地域に住むさまざまな年代・立場の方々が一緒に食事をする機会を設けることで、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶこと、共食の大切さについて理解を深めることができている。 地域での食育を推進するため創意工夫して取り組まれ、多くの働きかけを行った結果、目標については達成ができている。 日々の献立で導入できるような栄養バランスや食文化を考慮したメニューを考案し発信を行った結果、参加者の意識の高まりが見られ、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の大切さについて、理解を深めることができている。	本事業によるこども食堂および誰でも食堂の開催の結果、「地域などで共食したいと思う人が共食する割合」が増える機会に繋がった。 また、共食時に配布した食育チラシにより、「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合」も増加しており、目標値を大きくクリアしている。 さらに、商店街に料理発注を行い、地域コミュニティの活性化に繋がったことも優れた活動と言える。引き続き、地域の商店や住民を巻き込みながら本活動を継続して、さらに地域における食育推進を実践してほしい。 本事業の参加前と参加後のアンケート結果より、4つの目標値、「産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合」「地域などで共食したいと思う人が共食する割合」「主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合」「農林漁業体験を経験した者の延べ人数」の各項目に対し、いずれも食に関する正しい知識の向上が認められ、本事業は幅広く効果的な食育事業であったと考えられる。 農林体験の様子を示した写真から、子供達が興味を持ち、楽しむ様子が見うけられ、楽しみながら食育を学べる良い機会となっていると思われた。
		・ 食文化の保護・継承や日本食型の食生活の実践のための取組支援	・ 栄養バランスに配慮した食生活の実践度	43.9%	45.6%	103%					
		・ 農林漁業体験機会の提供	・ 農林漁業体験を経験した者の延べ人数	24人	28人	116%					
		・ 食育推進リーダーの育成及び活動の促進	・ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	78.8%	93.9%	119%					
総 計・総合達成度						111%	A		4,585,321		

令和５年度 消費・安全対策交付金（令和４年度補正予算本省繰越分）事後評価の概要（ソフト・特別型）

目的	目 標	事業内容	目標値		実 績	達成度	評価	事業実施 主体	交付金 相当額 （円）	評価の概要	第三者の意見の概要
伝 染 性 疾 病 ・ 病 害 虫 の 発 生 予 防 ・ ま ん 延 防 止	発 生 予 察 及 び 侵 入 調 査 の 強 化 に 資 す る 機 器 の 整 備	ス マ ー ト 害 虫 モ ニ タ リ ン グ シ ス テ ム 等 の 整 備	普 通 作 物 害 虫 お よ び 野 菜 害 虫 の ま ん 延 防 止	－	普 通 作 物 害 虫 お よ び 野 菜 害 虫 の ま ん 延 防 止	達 成	適 正	岐 阜 県	3,894,000	発生予察及び侵入調査の強化に資する機器の整備に関する本事業は、適正に実施され、目標を達成した。 今後実証を行う AI による画像認識による同定が高精度であれば大幅な省力化が期待でき、職員の作業負担軽減に寄与すると考える。	害虫予察のためのスマートモニタリングシステムが導入され、予察事業への導入に備えた動作確認が行われた。その結果、本システムが予察事業に適切に使用可能であることが確認できた。また現地調査で病害調査に使用するマイクロスコープも導入されており、病害発生現場で迅速に原因病害を判定できるようになった。これら機器を使用することで、今後岐阜県内での病害虫への対策事業がより一層進むことが期待できる。
総 計 ・ 総合達成度						達 成	適 正		3,894,000		